蘇生会総合病院 広報誌

SOSEI

患者様のSOSに気付ける医療者でありたい 患者様のSOSに応えられる病院でありたい



で自由にお持ちください ~Take Free~



乳がん検査ってこわくない? がん薬物療法看護認定看護師の紹介 突撃!イクタが行く! 糖尿病教室 開催報告 「秋の味覚で免疫力アップ! さつまいもサラダ」 蘇生会総合病院がクラウドファンディング挑戦中



乳がん検査ってこわくない?

~あなたの胸に、やさしい気づきを~



「乳がん検査って痛い…」「なんだか恥ずかしい」 そんな不安、感じたことはありませんか? 当院ではすべて女性スタッフが担当。チーム体制でサポートし プライバシーに配慮した安心空間でリラックスして受けられます。 流れはとってもシンプル。

受付

マンモグラフィ

乳腺

医師の問診& 自己触診レッス

「受けてよかった!」そんな声、たくさん届いています。

痛みが少ないってホント?

3Dマンモグラフィ始まっています!

当院のマンモグラフィは個々の乳房に合わせて最適に圧迫を行うしく みを搭載しており、痛みを最小限に抑えながら精度の高い診断が行え ます。

さらに最新の3Dマンモグラフィを導入しています! 従来の平面撮影とは違い、乳腺を立体的にとらえることができ、見逃しにくく、より正確な診断が可能です。

しかも、「痛みが少ない!」との意見もいただいています。

やさしい声かけと丁寧な対応で、初めての方も安心していただけます。



乳腺エコーでも検査を!



ゼリーをぬって機械をすべらせて検査を行います。痛み のない超音波検査で、マンモグラフィでは見えにくい部 分も確認できます。

特に乳腺が密な方や若年層の方に適しています。「リラックスして受けられた」という声もいただいています! しこり部分の構造が認識しやすい検査なので、乳腺濃度が比較的高いと言われている日本人女性には、マンモグラフィと併用することで、安全で検出率の高い検査が期待できます。

静かな空間で、やさしく検査が進みます。

医師の問診&自己触診レッスン





検査の仕上げは医師との問診。生活習慣のこと、不安な症状も丁寧にチェック。 そして、保健師が自己触診のやり方をレクチャー。「いつ?どこを?どうやって?」がスッキリわかります。 ※視触診は、医師が必要と判断した場合のみ実施します。

女性スタッフだけだから、安心感がちがいます

乳がん検査に携わるスタッフは、医師をはじめみんな女性。プライバシーに配慮した空間で、気兼ねなく相談もできるから、「受けてよかった」「勇気出してみてよかった」そんな気持ちにきっとなれるはず! スタッフ全員が、あなたの小さな「気になる」にやさしく寄り添います。

おわりに:あなたの胸に、やさしい気づきを 乳がんは、早期発見がカギ。

「ちょっと気になる…」そんなタイミングこそが、検査のチャンスです!

健康増進センターでは、女性スタッフがあ なたの一歩を応援しています。

ご予約・お問い合わせは下記まで。

(3D撮影はオプション検査のため、別途料金が必要です。)

迷ったらまずは、お電話でお気軽にどうぞ! あなたの胸に、ほんのすこしの"気づき"と "安心"を届けませんか?



A 【電話受付 ♥ 050-1724-0765

2025年4月1日より、健康増進センターでは、AI電話を利用した受付を開始いたしました。

※受付後、担当者より折り返しご連絡いたします。未来のテクノロジーで、あなたの健康管理をもっと便利に!健康増進センターが全力でサポートします。

01

がん薬物療法看護認定看護師の紹介 -

私は看護師として30年の経験を重ね、現在は「がん薬物療法看護認定看護師」として化学療法室で患者 さんやご家族と向き合っています。化学療法は体だけでなく心にも負担の大きい治療です。だからこそ「安 心してここに来られる場所」であることを大切にしています。



安全な投与管理はもちろんのこと、副作用の早期発見と対応に力を入れています。小さな変化にも気づけるよう患者さんの表情や声に耳を傾け、医師や薬剤師と連携しながら適切にサポートしています。治療中は音楽を流したり、落ち着いた雰囲気を心がけて、「点滴に来ることが苦痛ではなく、少しホッとできる時間」になるよう工夫しています。日常の何気ない会話やちょっとした笑顔も、患者さんにとって大きな安心につながると信じています。

また、私自身も乳がんを経験したサバイバーです。患者として過ごした時間があるからこそ、治療への不安や孤独感を心から理解することができます。医療者としての専門性と、当事者としての実感、その両方を持ち合わせていることが、患者さんに寄り添う大きな力になっています。



さらに、自分の経 験を形にしたいと いう思いから、長 編映画『RevivaL 現在は、臨床の現場に加え、「傾聴」が

いう思いから、長 編映画『RevivaL ~蘇生~』を企 画・脚本・制作し、 主題歌まで手がけ ました。看護師で ありながら新しい

挑戦をやり切ったことは「できるかできないかではなく、やるかどうか」という大切な気づきにつながりました。この経験は、患者さんに「人生はやり直せる」という希望を伝える活動にも結びついています。

現在は、臨床の現場に加え、「傾聴」や「心のマナー」をテーマに講座や講演も行い、医療者だけでなく一般の方にも"心を整える大切さ"を伝えています。蒲生にとって傾聴とは、単に話を聞くことではなく「その人の人生に寄り添うこと」です。これからも患者さんとご家族が安心して治療を受けられるように、そして医療者にも学びを届けられるように、臨床・教育・啓発の3つを柱に歩みを続けていきます。

文責/がん薬物療法看護認定看護師 蒲生 美砂



突擊! (力力)

広報委員のイクタが各部署におじゃまして 普段見えないお仕事の裏側や魅力を皆さんにお届けします!



臨床心理科編



当科では、臨床心理士・公認心理師の両資格を持つ2名のスタッフが所属し、患者さんのこころのサポートを行っています。主治医の先生のご依頼で、うつや不安、がん・慢性疾患・脳卒中などに伴う心身の不調に対して、以下のような業務を通じて患者さん一人ひとりに合った支援を提供しています。

心理面接(カウンセリング)

さまざまな臨床心理学的技法を用いて、気持ちや考えを整理し、問題との向き合い方や今後の対応を一緒に考えるなどの支援を行います。

心理検査

気分や性格、認知機能、発達特性などを把握する ためのさまざまな検査を行い、診断や治療に役立 てます。

患者指導

多量飲酒や心不全などを有する患者さんに対し、こ ころの専門家として介入を行います。



グループ活動

介護医療院の認知症患者さんに対し、さまざまな アクティビティやレクリエーションを行います。

チール医療

各種委員会・チーム(緩和ケアチーム、認知症初期集中支援チーム、化学療法委員会、ACPチーム等)の活動に参加し、他職種と連携して支援を行います。



患者さんが少しでも安心して療養できるよう、「こころの声」に耳を傾けることが私たちの役割です。他職種と連携しながら、チーム医療の一員として力を尽くしてまいります。

文責 / 臨床心理師 大内 淳

03

糖尿病教室 開催報告

- ●露木医師による講義:「糖尿病と最新治療」 現在使用されている薬や最近話題のGLP-1受動態作動薬について、具体的に説明がありました。
- ■認定看護師より:「あしたから始めるフットケア」日常でできるケアや観察のポイントなど、実践的な内容で好評でした。
- ●管理栄養士より:「夏の過ごし方」 食事や水分補給について夏ならではの注意点を中心に行いました。
- ●参加者からは「すぐ実践できそう」「話が分かりやすかった」と好評でした。

次回予告:糖尿病患者さんのための認知症予防講座

- 日程:2025年11月14日(金)
- 時間:13:30~15:30
- ト場所: 喜美商事ビル 二階会議室 医師、認知症認定看護師、歯科医師、 管理栄養士が、糖尿病と認知症の関わりについてお話しします。
- ★参加費無料・ご予約不要 お気軽にご参加ください。





文責/松本 泳子

「秋の味覚で免疫力アップ! さつまいもサラダ」



暦の上では秋を迎えましたが、まだまだ残暑が長引いていまね。季節の変わり目は、体調を崩しやすい季節です。そんな時こそ、旬の食材を取り入れた食事で体の内側から調子を整えましょう。今回は秋の食材であるさつまいもについてご紹介します。さつまいもは食物繊維が豊富な食材です。不溶性食物繊維・水溶性食物繊維の両方が含まれているため、腸の動きを活発にし、便秘の予防や改善に役立ちます。食物繊維は腸内環境を整える働きもあるため免疫力向上にもつながります。さつまいもの皮は食物繊維が豊富なので、皮ごと食べるのがおすすめです。また、さつまいもの特徴はビタミンCが加熱によって壊れにくいことです。ビタミンCの働きは肌の張りを保つ効果や、抗酸化作用、免疫力を高める働きがあります。電子レンジの利用や蒸すことで効率よくビタミンCを摂ることができます。旬の食事を使った料理は栄養価が高いだけでなく、季節を感じる楽しさもあります。ぜひ、日々の食事に秋の恵みを取り入れてみてください。

材料 2人前

・さつまいも	·····150g
·ツナ缶·······	····1缶(70g程
・マッシュルーム…	809
・マヨネーズ	大さじ
・塩・こしょう	······/›
・パセリ	適量

作り方

- さつまいもは一口大に切り、10分程水にさらして水気を切る。
- ② 耐熱ボウルにさつまいもを入れ、ふんわりラップをかけ600Wの電子レンジで5分加熱し、 粗熱をとる。
- ③マッシュルームは石づきを切り落とし、薄切りにする。
- ← 耐熱ボウルにマッシュルームを入れ、ラップをかけてしんなりとするまで600Wの電子レンジで1分程加熱し、粗熱を取り、水気を切る。
- ⑤ ツナ缶は油を切る。
- ⑥ ボウルにさつまいも・マッシュルーム・ツナ・マヨネーズ・塩・こしょうを加えて、全体を和える。
- 7 器に盛り付けお好みでパセリを散らして完成。

☆お好みの調味料(カレー粉/レモン果汁/めんつゆ など)をプラスして自由にアレンジできます! ※芋類は糖質が多い食品のため糖尿病の方は食べ方に注意が必要です。

栄養価(一人前) 熱量:277kcal、たんぱく質:9.8g、塩分:0.8g

文責/管理栄養士 島田 菜帆



口価人妬

1,000万円

実施期間

2025年10月20日(月)10時~12月18日(木)23時まで

私たち蘇生会総合病院は、「断らない救急医療」を目指して主に2次救急医療を担って まいりました。医療圏内の救命救急センターとも連携し、年間の救急車受け入れ台数も年々増加、 現在は年間約4000台にまで達しています。

しかし、京都市の高齢化率は今後も上昇が予測され、同時に救急医療の需要は今後ますます高まるものと思われます。このような環境下でこれからも「断らない救急医療」を実践していくために 今回、高規格救急車購入を含めた救急医療体制の整備を進めています。

当院が現在使用している救急車は購入後19年が経過し、患者転院搬送用としても車体の劣化が進んでいます。患者搬送のみならず、ドクターカーとして現場に駆けつける救急医療を展開するために、 高規格救急車と救急医療機器整備が必要です。

どうか、地域の皆さまと共に、私たちが地域の救急医療を守り続けるために温かいご寄付を 賜りますようよろしくお願い申し上げます。

理事長:津田 永明 院 長:長澤 史朗 副院長:土師 誠二





インターネット上でのお手続きが難しい場合は、実施期間中、院内 1 F待合室に専用ブースを設けますので、スタッフまでお声がけください。 お問合せ先:project_cf2025@soseikai.or.jp

2025年10月19日(日)は 日曜日に乳がん検査が 受けられる日です。

多性な平月をお過ごしの皆様へ

J.M.S(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)は子育で・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に検診を受けに行きにくい女性の皆様が、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定NPO法人J.POSHが協力して毎年10月第3日曜日に乳がん検診マンモグラフィー検査を受診できる環境づくりへの取り組みです。今まで乳がん検査に行ったことが無い方、最近忙しくて行っていない方等、日曜日に受診出来るこの機会に「乳がん検診」を受けてみませんか。乳がんは早期発見・早期治療すれば「ほとんどが治るがん」です。

◆ご予約・お問い合わせは 0120-621-388(直通) または直接窓口までお越しください。



蘇生会総合病院の指針・

▶理念

思いやりの気持ちで心とからだの蘇生を患者様の信頼と要望に全力で応える医療を

▶基本方針

- ①最新で質の高い医療
- ②誠実で正しい医療
- ③地域社会に貢献できる医療
- 4急性期疾患と慢性期疾患とを含めた総合的医療
- 5 患者様の権利を尊重した医療
- 以上を提供する

▶患者様の権利

- ①人として人格を尊重される権利
- ②診療内容について十分な説明を受ける権利
- ③納得のいかない診療を拒否する権利
- 4自分の受けた診療について知る権利
- ⑤清潔な環境で診療を受ける権利
- ⑥プライバシーを保護される権利

▶患者様の義務

他の患者様の迷惑となる言動をしない

▶臨床倫理の方針

患者様を中心とした公正な医療を提供するために、 次のとおり臨床倫理の方針を定めます。

- ①「患者様の権利」を尊重した医療を提供します。
- ②個人情報の保護と職務上の守秘義務を遵守します。
- ③診療行為に関する関係法令を遵守します。
- 国籍、人種、信条などに左右されることなく、公平な医療を提供します。
- 5生命の尊厳に関する医療行為や臨床研究などは、 倫理委員会で審議を行い、方針を決定します。

グループ施設紹介

医療法人社団蘇生会

- ·蘇生会総合病院
- ・蘇生会クリニック
- ・蘇生会総合病院 健康増進センター
- ・老人保健施設 アールそせい
- ・老人保健施設 第2アールそせい
- ・蘇生会訪問看護ステーション
- ・蘇生会居宅介護支援サービスセンター



蘇生会総合病院広報誌 第86号 2025年10月発行 ■発行/医療法人社団蘇生会 ■編集/蘇生会総合病院広報企画委員会



〒612-8437 京都市伏見区下鳥羽広長町101番地 **TEL:0570-071-101**(代)

FAX:075-612-5790





広報誌